

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

膵癌術後の残膵体積と予後の関連性に関する研究

1. 対象となる患者さん

2010年1月～2025年11月の間に当院で膵癌の治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 庄 雅之

3. 研究の目的と意義

膵癌根治切除後に残存する膵実質の量（残膵体積）と長期予後との関連性について、十分に検討した研究は少なくいまだに解明されていません。今回、術後残膵体積を定量的に評価し、予後や術後合併症、代謝・栄養状態との関連を明らかにし、適切な切除範囲の決定、術後フォローアップ体制の構築を目指します。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、膵癌における術後残膵体積と予後の 相関を算出します。

5. 使用する試料・情報

診療情報：

- ① 臨床所見（年齢、性別、既往歴、体重、身長、BMI）
- ② 血液所見（初回治療開始時、術前化学放射線療法終了手術直前、術後の腫瘍マーカー（CA19-9、CEA、DUPAN-2）、白血球数、血小板数、ヘモグロビン値、血清アルブミン値、コリンエステラーゼ値、血糖値、HbA1c 値）
- ③ 画像所見（初回治療開始時、術前化学放射線療法終了手術直前、術後の CT, MRI 所見）

- ④ 脾体積測定（造影 CT を用いて術前、術後の脾臓の体積を測定）
- ⑤ 手術所見（手術時間、出血量、輸血量、血管合併切除の有無）
- ⑥ 周術期データ（術後合併症、糖尿病薬使用率、術後在院日数、ドレーン排液（アミラーゼ値、ビリルビン値））
- ⑦ 病理組織診断（組織型、腫瘍径、リンパ節転移、切除断端状態、腹水細胞診, Evans 分類）
- ⑧ 術前・術後補助療法の内容や期間、術後生存期間、無再発生存期間、再発後生存期間、再発部位、再発後治療の内容や期間

6. 試料・情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2027年 12月 31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 寺井 太一

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：t-taichi@naramed-u.ac.jp